

佐久新校（仮称）再編実施基本計画

1 再編統合対象校

野沢北高等学校、野沢南高等学校

2 募集開始（開校）年度

令和 11 年度

今後両校の学校規模の縮小化が避けられない状況の中、できるだけ早期の統合が必要であること、施設の整備期間等を考慮し、令和 11 年度を新校の募集開始年度とする。

3 活用する校地・校舎

野沢北高等学校

「新校で構想する学び」の実現を第一に考え、敷地（校地）の広さと周辺の道路環境を考慮し、野沢北高校を新校の校地校舎として活用する。

4 設置課程・学科及び開校時に想定する募集学級数

全日制課程 学際領域に関する学科 8 学級程度

定時制課程 普通科 1 学級

※学科の名称は、今後編成する教育課程等に基づき、開校前年度に決定する。

※新校開校時の募集学級数は、毎年度定める「長野県立高等学校生徒募集定員」により開校前年度に決定する。

設置学科については、高等学校における「普通教育を主とする学科」の弾力化（高等学校設置基準及び高等学校学習指導要領の一部改正）により設置可能となった「新たな普通科」の 1 つである、学際領域に関する学科[※]を設置し、新たな学びに対応した単位制を導入する。

佐久地域の中学校卒業予定者数の推移や現在の募集学級数から、新校の開校年度には 8 学級程度が想定される。

東信地域全体の配置状況を考慮し、定時制課程を設置する。

注) 現代的な諸課題のうち、SDGs の実現や Society5.0 の到来に伴う諸課題に対応するために、学際的・複合的な学問分野や新たな学問領域に即した最先端の特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科。(学際＝研究などが異なる分野にまたがって関わること)

5 学びのイメージ

別紙のとおり

地域と大学、研究機関等と協働した探究を核とし、「夢のある未来社会を地域と共創する知の探究校」を構想する。

6 施設整備

新校の学びに必要な施設整備及び、高校施設の著しい老朽化と社会や学びの変化に対応し質的向上を図っていく。

・施設整備に要する期間 6 年程度を想定

夢のある未来社会を地域と共創する「知」の探究校

目指す学校像

- 高い志の進路を実現し、地域・日本・世界に貢献する人を育む
- 新時代を切り拓く「創造力」と「探究心」を育む
- 他者との協働により、多様な価値観を共有し、豊かな人間性を育む

学際領域に関する学科

確かな学力と教養を獲得する単位制

- 文理融合のリベラルアーツ的な学び
- 探究を核とした学び
- 大学・研究機関・企業・自治体などと協働した学び



1年次：必履修科目や多彩な校外学習等により探究の基礎・基本を習得

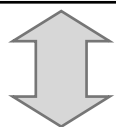
2～3年次：単位制の自由度を最大限活用して「自らの学びをデザイン」

理数科学選択群

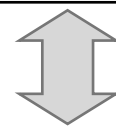


人文科学選択群

- ◇ 選択群を中心に、個々の興味関心により主体的に科目選択
- ◇ 学校内外の自主的・創造的な活動による単位取得
海外留学、資格取得、大学の講義を受講、地元企業との共同研究 など
- ◇ 多様な地域資源を活用したグローバルな探究活動
- ◇ 生徒の活動に伴走するアカデミックサポーター（OB・OG）との連携
- ☆ 医学部・デジタル系の大学や海外の大学への進学など、生徒が希望する多様な進路実現を目指す



佐久エリア共学共創コンソーシアム
多様な人々と協働し、地域の未来社会を共創するコミュニティ



大学

医療機関

地元企業

自治体

研究機関



◆定時制課程 普通科（単位制）：3年間での卒業や全日制の授業を履修可能とする新システム◆